

教文・教材関係レジメ

1 2021年度全県「同和」教育学習会について

- 1) 開催予定日：2022年2月19日（土）午後
- 2) 内容：12月開催の「同和」教育推進委員会で協議後に要請文発出予定
- 3) 「かかわる『同和』教育」をめぐる情勢：

○「部落罪人起源説」が未だ克服されず差別事件頻発

○2019年度教職員意識調査報告書に見る課題

○SNSによる部落差別拡散事件「『全国部落調査』復刻版出版事件裁判判決」の課題

○「部落差別解消推進法」具現化へ部落問題学習中心に据えた学習・実践の深化

○「県同教第28回新潟県同和教育研究集会」12月9日(木)・10日(金)くびき希望館

※「第72回全国人権・同和教育研究大会」報告・資料集の本日頒布

2 「教育のICT化」に関する諸課題について

1) 本質的課題

- 「教育のICT化」が「主体的で対話的な深い学び」「個別最適な学び」等の最終手段なのか？
- 「管理統制・監視社会の強化」「教育の市場化(民間参入)」推進による更なる教育格差拡大

2) 諸課題

○ICT機器の利活用等

- ・バックアップ体制なし、研修等も現場押しつけ
- ・支援員12月末配置終了に63%「継続希望」
- ・表面的なICT利用に関する家庭環境調査
- ・私費軽減に逆行する「BYOD方式」 実施希望校は説明責任
※文科は「24年度高校生1人1台タブレット」強要
- ・デジタル教材強制供出に見る「教育センター」の機能不全

○校務用パソコン

- ・教職員全員担当とICT化に耐える機器選定の強い現場要望

○SaGaSuプロジェクト「離島・山間地学校への遠隔授業配信」事業

- ・「事業実施校生徒は実験台なのか？」と現場から厳しい指摘。小規模校への「人」配置優先

○統合型校務支援システム

- ・業務効率向上やセキュリティ強化のみ宣伝。学校版「マイナカード」の国目論見隠蔽
- ・生徒情報等は当該校教職員固有の情報。県教委サーバーへのデータ移管・一元管理を生徒・

保護者への未だ説明・同意取り付けなどの動きなし。個人情報保護を担保するシステム運用ルールのみ明示なし。覗き見や目的外利用の恐れも

- ・高校入試、卒業・進級・進学等生徒指導、異動含む新年度引き継ぎ作業等集中する期間にもかかわらず、データ移管作業について高校課長「一時的に業務は増える」と無頓着回答

3 高校入試における新型コロナウイルス感染症対策について

1) 昨年度

- 県教委マニュアルは「机上の空論」→県立2校(新潟南、佐渡)で外部から試験監督応援あり
- 法律より受検機会確保優先? 労安にかなうのか?

2) 10.27 新高教「統一要求書交渉」で「マニュアル準備中」回答への対応必要

- 専門部交渉における追及、要求書提出など検討

4 「令和4年度募集学級計画」について

1) 9月議会経て10月県教委区委員会定例会で承認

2) 中学校卒業生数の見込み: 令和4年3月18,862人(前年比+516人)

3) 全日制課程 合計7学級増・募集定員280人増

- 学級増 9校9学級 三条東(5→6)、長岡大手(5→6)、長岡向陵(5→6)、長岡農業(3→4)、柏崎常盤(2→3)、十日町(5→6)、高田商業(3→4)、新井(3→4)、佐渡(4→5)

- 学級減 1校1学級 阿賀野(3→2)

- 募集停止 1校1学級 高田安塚分校(1→募集停止)

5 特別支援学校高等部の改編

- 22年4月～新潟盲学校と聾学校統合し「新潟よつば学園」開校(新潟東工業高校跡地)

- 22年4月～五泉特別支援学校高等部を村松公高校内に移設し「五泉特別支援学校村松分校」

- 23年4月～月ヶ丘特別支援学校高等部の分校を見附高校内に設置

6 その他諸課題について

1) 22年度改訂高校学習指導要領完全実施に伴う諸課題

2) 観点別評価

3) 教員免許更新制「廃止」の行方

4) スクールミッション・スクールポリシー